

令和5年7月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和5年7月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録されている八戸三社大祭が7月31日から8月4日まで開催されます。

新型コロナウイルスの影響で山車の合同運行を取りやめるなど規模縮小が続いておりましたが、今年は4年ぶりの通常開催となります。

7月31日の前夜祭と8月4日の後夜祭では、市庁前市民広場と中心街で山車の展示、8月1日のお通りと8月3日のお還りでは合同運行、中日の8月2日は例祭や夜間山車運行のほか、長者山新羅神社で伝統武芸の加賀美流騎馬打毬がそれぞれ行われ、古式ゆかしい神社行列と、雅やかなお囃子とともに現れる華麗な山車が、八戸の短い夏を熱く、美しく彩ります。

みなさま、八戸のまちが熱気に包まれる「八戸三社大祭」にぜひお越しください。

◆八戸三社大祭についてはこちら

[https://visithachinohe.com/stories/sannshataisai\\_schedule/](https://visithachinohe.com/stories/sannshataisai_schedule/)

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

# 八戸 7月号 レポート

令和5年6月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	八戸・更上閣 ガーデンレストラン開催
(2)	八戸市民病院 患者サポートセンター開設 入院～退院一括で支援
(3)	中心街公共施設で音楽イベント 初の「ヨルニワ」盛況
(4)	市民アンケート 大型公共施設の有効利用
(5)	デジタル商品券 県内初 子育て世代や若者対象

## 【産業】

記事	概要
(6)	全国初 フジツボ 種苗生産に成功 養殖普及の可能性高まる
(7)	ぐるなび飲食店オープン 八戸・ソピア 全国のグルメ提供
(8)	「はれわたり」消費拡大を 青森県、宿泊事業者向け試食会開催
(9)	八戸市中央卸売市場 ジュノハート初競り ハートビート1箱50万円
(10)	ムラサキイカ資源調査へ 八戸から北太平洋に出発
(11)	巻き網船 マイワシ好調 八戸港数量、半月で4000トン越え

## 【地域】

記事	概要
(12)	はちのへワインフェス2023 10年目の節目
(13)	空き家利活用 八戸活性化へ 若者3人がチーム結成
(14)	国際クルーズ船 八戸初寄港 関係者、郷土芸能で歓迎
(15)	8月のはちのへホコテン 初の土曜日開催
(16)	ジャパンタイムズ発表 国内レストラン10店 カーサ・デル・チーボ（八戸）選出

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	14大会ぶり2度目 光星 春の東北王者に 仙台育英に競り勝つ
(18)	ボルダー-W杯初出場 関川愛音さん（光星高1年）
(19)	ダンス国際大会 ヒップホップ部門2位 沢上りんかさん（八戸出身）

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>八戸・更上閣 ガーデンレストラン開催</b></p> <p>八戸市本徒士町の国登録有形文化財「更上閣」で6月8日から11日までの午前11時～午後2時、キッチンカーなどが出店する「ガーデンレストラン」が開催された。更上閣の周知と隣地に開園した「にぎわい広場」などの活用促進に向けた市の実証実験として、昨年に続き2回目の開催。一定の成果があったことから本年度も6月と10月の2回の開催を決定した。期間中は、キッチンカーや出店が並び、訪れた市民は、にぎわい広場や日本庭園の風情豊かな空間でランチを楽しんだ。</p>
(2)	<p><b>八戸市民病院 患者サポートセンター開設 入院～退院一括で支援</b></p> <p>八戸市立市民病院が6月12日、患者サポートセンターの運用を開始した。センターは、医師や看護師、薬剤師ら多職種が連携し、入院予定患者を支援する総合窓口として機能する。これまで入院前の患者が各部門ごとに受けていた治療や服用薬の説明、入退院の手続きなどをワンストップで行う。患者へのサービス向上のほか、業務一本化による職員の業務負担軽減につなげる。</p>
(3)	<p><b>中心街公共施設で音楽イベント 初の「ヨルニワ」盛況</b></p> <p>八戸市中心街の公共施設を会場とした初の音楽イベント「ヨルニワ」が6月10日、開催された。市の施設の活用促進と、来街者の回遊を促すことで中心街への波及効果を狙おうと市が主催。午後6時～8時まで、更上閣、「はっち」、美術館を会場に実施。各会場には、飲食屋台やキッチンカーが出店したほか、バンドの生演奏や歌などが披露され、大勢の市民でにぎわった。市は、出演者や来場者を対象にアンケートを実施しており、公共施設の活用など今後の施策につなげていく考え。次回は10月に開催予定。</p>
(4)	<p><b>市民アンケート 大型公共施設の有効利用</b></p> <p>八戸市は7月7日まで、大型公共施設の有効利用に向けた具体策を検討するための市民アンケートを実施した。大型公共施設の利活用は熊谷雄一市長の政策公約の柱の一つで、費用対効果を高める方針を示してきた。アンケートは、今年1月に「見える化シート」で維持管理費や財源の見通しなどの総合的な情報を公開した10施設のうち、八戸ブックセンターや市美術館、「はっち」などの8施設が対象。市は、「市民ニーズを把握し、有効利用に向けた取り組みの参考にしたい」と積極的な回答を呼び掛けた。</p>
(5)	<p><b>デジタル商品券 県内初 子育て世代や若者対象</b></p> <p>八戸市は、子育て世代や若者を対象とした「次世代エール商品券」を青森県内初のデジタル商品券として発行する。対象者は、2001年4月2日以降に生まれた市民と、市内の大学や専門学校などに通う学生の計約4万2千人で、1人につき1セット、1万5千円分を1万円で販売する。利用者は商品券購入や支払いをスマートフォンアプリで行い、1円単位での利用も可能。参加店は事務処理がアプリで完結するため、商品券管理や換金請求などが不要となるなど、双方に利点がある。消費喚起に加え、民間事業者のデジタル化推進も狙う。</p>

【産業】

記事	概要
	<p><b>全国初 フジツボ 種苗生産に成功 養殖普及の可能性高まる</b></p>
(6)	<p>青森県栽培漁業振興協会は、八戸学院大などと共同研究で取り組んでいるミネフジツボの生産技術の開発で、全国で初めて実用レベルの種苗生産に成功した。植物プランクトンの一種であるタラシオシラを餌として与えたところ、高確率で種苗が成長し実用可能な成果を得られた。ミネフジツボはエビやカニのような風味が特長で、単価は1キロ当たり2千円にもなりホタテの10倍ともいわれる高級珍味。養殖普及への可能性が高まり、関係者は「漁業者の所得向上や観光資源につながってほしい」と期待を寄せる。</p>
(7)	<p><b>ぐるなび飲食店オープン 八戸・ラピア 全国のグルメ提供</b></p> <p>飲食店情報サイトを運営する「ぐるなび」(東京)は6月16日、八戸市のラピアに飲食エリア「GURUNAVI FOODHALL WYE (ぐるなびフードホールワイ) 八戸ラピア」を開設した。東北初進出で、八戸が全国5カ所目の出店。東京の名店のマーボー豆腐、名古屋の人気店の牛たんシチューなど全国にある飲食店の看板メニューやオリジナルグルメを味わうことができる。今回の出店を機に、青森県のメニューの全国展開を模索するほか、東北での新規出店も検討する方針。</p>
(8)	<p><b>「はれわたり」消費拡大を 青森県、宿泊事業者向け試食会開催</b></p> <p>青森県は6月20日、今秋に全国デビューする青森県産米の新品種「はれわたり」の宿泊施設での消費拡大に向けた試食会を八戸プラザホテルで開催した。はれわたりは、粘りや甘み、粒の見た目の良さが特長で、2022年産米の食味ランキングでは最高評価の特Aを獲得。今後、24年産から種子供給を停止する「つがるロマン」からの切り替えが進む見通し。試食会に参加した関係事業者らは、「まっしぐら」や「あきたこまち」と比較しながら、食事メニューでの利用可能性を探った。</p>
(9)	<p><b>八戸市中央卸売市場 ジュノハート初競り ハートビート1箱50万円</b></p> <p>市場デビュー5年目を迎えたサクランボの青森県独自品種「ジュノハート」の初競りが6月20日、八戸市中央卸売市場で行われ、大玉サイズで最上位ブランド品「青森ハートビート」(1箱15粒入り)に50万円の最高値が付いた。出品数は過去最多の114箱で、青森ハートビート10箱は1箱2万~50万円、ジュノハート104箱は同3千~1万6千円で競り落とされた。ハートビートは23日からさくら野百貨店八戸店でも1箱1080円(税込み)で販売。ルビー色に輝く2粒が化粧箱に詰められ、用意された30箱は1時間45分ほどで完売した。</p>
(10)	<p><b>ムラサキイカ資源調査へ 八戸から北太平洋に出発</b></p> <p>青森県産業技術センター水産総合研究所(平内町)の漁業試験船「開運丸」が6月23日、ムラサキイカの資源調査のため、八戸港から漁場の北太平洋へ出発した。ムラサキイカは、同港所属の大中型イカ釣り漁船などが水揚げし、全国に流通。スルメイカ漁が振るわない中、生鮮品や加工原料として重宝されている。漁場の北太平洋海域は、日本のほか、中国や韓国などの外国船も操業する。今後、国際的な海洋資源管理が行われることを視野に、ムラサキイカの保存や持続可能な漁につながるデータの蓄積を目指す。</p>

	<b>巻き網船 マイワシ好調 八戸港数量、半月で4000トン越え</b>
(11)	大中型巻き網船団によるマイワシ漁が好調だ。今季の初水揚げは昨季よりも3週間ほど早く、6月16日の八戸港への今季初水揚げ以降も断続的に入港があり、19日には1500トンの漁獲があるなどハイペース。漁場は三陸沖を徐々に北上しており、29日には八戸前沖で漁獲した384トンが市場に上場された。数量は半月で4千トンを超え、既に2022年の年間数量の1万705トンの半分に迫る勢いだ。また、市場関係者によると「大きめのサイズが少し交ざるようになり、脂乗りもよくなってきた」と好感触を得ていた。

【地域】

記事	概要
(12)	<p><b>はちのヘワインフェス2023 10年目の節目</b></p> <p>八戸ワインの魅力発信やブランド力向上などを目指す「はちのヘワインフェス2023」が6月4日、八戸市の「はっち」で開かれた。会場の販売ブースには12社が出店し、国内外のワインやジードルを販売。飲食店も並び、来場者はワインを味わいながら料理を楽しんだ。また、醸造家を招いたセミナーも行われ、ワインの魅力について理解を深めた。今年で初開催から10年の節目となり、複合型のイベントとしての開催は今回が最後となる見込み。今後はセミナーや飲食を別々に開催することを検討している。</p>
(13)	<p><b>空き家利活用 八戸活性化へ 若者3人がチーム結成</b></p> <p>地元出身の3人の若者が「南部藩都市開発ユニット DASUKEYO（だすけよ）」を立ち上げ、八戸市のまちづくりに動き出した。メンバーは、青森県職員の和山大輔さん、閉店した三春屋をカラフルに彩る企画を手がけた建築家の高砂充希子さん、空き家になっていた市内の曾祖母方を改修してゲストハウス事業を始めた鈴木美朝さん。人口減少や高齢化、空き家問題など、地域の危機を転機に価値観を変えていこうと、空き家にデザイン性やコンセプトで付加価値をもたせ、次世代の八戸の発展に寄与したいと展望を描く。定期的にイベントを開き、プロジェクトの周知と実現に向けた機運を高めていきたい考えだ。</p>
(14)	<p><b>国際クルーズ船 八戸初寄港 関係者、郷土芸能で歓迎</b></p> <p>オーストラリアのクルーズ船「シーニック・エクリプス」が6月19日、八戸港に寄港した。同港に国際クルーズ船が寄港するのは初めて。米国やオーストラリアなどからの約70人の乗船客らは、出迎えたえんぶり組の太夫や子どもたちの摺りや舞を堪能した後、バスで種差海岸や十和田湖などのツアーに向かった。新型コロナウイルスの規制が緩和され、海外からの観光客の増加が期待される中、市内の観光関係者らは訪日客の取り込みや客船誘致に向け、青森県南地方ならではのコンテンツ開発に力を入れたい考えだ。</p>
(15)	<p><b>8月のはちのへホコテン 初の土曜日開催</b></p> <p>八戸商工会議所中心街委員会は6月20日、八戸市中心街を歩行者天国とする「はちのへホコテン」について、8月のイベントは26日土曜日午後2時半から6時半に開催することを決めた。開始以来、主に7月を除く5月～10月の最終日曜日の午前11時半～午後3時半に行われてきたが、8月のイベントは土曜日の午後開催とし、出店者のアルコール提供も可能とする方向。これまで出店していない業者や来訪機会がなかった客層を呼び込む考え。ホコテンは昨年まで、中心街関係者らでつくる実行委員会が担ってきたが、今年から同委員会と第三セクター・まちづくり八戸の主催に切り替わった。</p>

(16)	<b>ジャパンタイムズ発表 国内レストラン10店 カーサ・デル・チーボ (八戸) 選出</b>
	英字新聞「ジャパンタイムズ」が、訪れるべき国内のレストラン10店を発表する2023年の「DESTINATION・レストラン・リスト」に、八戸市のイタリアンレストラン「カーサ・デル・チーボ」が選ばれた。同リストは「日本人が選ぶ、世界に伝えたい日本のレストラン」として、21年から発表されているもので、対象は東京23区と政令指定都市を除く都市。同店は、11年に神奈川県出身のオーナーシェフ池見良平さんと八戸出身の悦子さん夫妻がオープンし、青森県産食材を使ってその時期ならではの料理を提供している。選出は青森県内では初めてで、今後八戸の名店として国内外から注目を集めそうだ。

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<b>14大会ぶり2度目 光星 春の東北王者に 仙台育英に競り勝つ</b>
	第70回春季東北地区高校野球大会決勝戦が6月11日、盛岡市で行われ青森県代表の八学光星が仙台育英と対戦した。八学光星が、3-2で昨夏の甲子園覇者・仙台育英に競り勝ち、春の東北王者に輝いた。新チーム発足後、すぐに迎えた昨秋の青森県大会は初戦負けだった。仲井宗基監督は「まだまだ完成形ではないが、夏につながるようなゲームになった」と総括。選手たちの視線も既に甲子園が懸かる本番に向いている。
(18)	<b>ボルダーW杯初出場 関川愛音さん (光星高1年)</b>
	八戸学院光星高1年の関川愛音さんは、今季初めてスポーツライミングワールドカップ(W杯)のボルダー競技に出場した。ボルダーのW杯シリーズは米国、チェコ、イタリア、オーストリアなど6カ国で開催され、関川さんはチェコとオーストリア以外で準決勝進出を果たし、イタリアではシリーズ最高の11位となった。帰国後のインタビューでは、「来年もW杯に出られるよう、次のジャパンカップで必ず表彰台に上がる」と強調。W杯での決勝進出と世界年間ランキング10位入りを実現するため、さらなる成長を誓った。
(19)	<b>ダンス国際大会 ヒップホップ部門2位 沢上りんかさん (八戸出身)</b>
	ヒップホップダンスの大会で世界的に活躍する、ダンスインストラクター沢上りんかさん(八戸市)が、韓国で開かれた国際大会「LINE UP8」のヒップホップ部門で準優勝した。沢上さんは、市内のダンススタジオを経営する父の影響でヒップホップを始め、現在はスタジオで講師を務める傍ら2カ月に一回程度、大会に出場している。近年は2020年シンガポール、22年インドネシアで開催された国際大会で世界一に輝いている。今大会には、アジアを中心に世界各国から450人超のダンサーが出場。沢上さんは規模が大きい大会での堂々の世界2位に笑顔を見せた。

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

## 申込み方法

### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



## 送付先

### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。